



## やつだ 谷津田の生物多様性について ～農村地域の生きものたち～

谷津田（やつだ）とは、低い丘陵地の谷にある田んぼのことを指し、福島県内でもよく見られる里山の原風景のひとつです。



田村市の谷津田、  
田んぼの周囲に電気柵を設置している

谷津田は稲作のための場でありながら、たくさんの生きものが暮らしていることが調査で分かっています。NPO 法人おーでらす等が実施した田村市の谷津田における生物相調査※<sup>1</sup>では、**603 種もの生きものが確認され、そのうち 30 種は絶滅のおそれのある種**※<sup>2</sup>でした。

しかし、多様な動植物の生育・生息場所である一方で、森林に囲まれているため、野生動物による被害を受けやすい場所でもあります。

田村市の谷津田でもイノシシによる掘り返しの被害が発生したことから、田んぼの周囲に電気柵を設置し、獣害を防ぎながら営農を続けています。谷津田のような小さな田んぼは、農業機械の導入も難しく、農業従事者の高齢化や獣害などにより、耕作放棄が懸念されています。谷津田を守ることが、生物多様性を守ることに繋がるという意識を新たな視点として持つことは、持続可能な社会を目指していく上でも重要です。



- 1 サンコウチョウ／2 トウキョウダルマガエル／3 カミヤコガシラミズムシ  
4 ミズオオバコ 5 ホッソモ／6 イトリゲモ／7 トリゲモ／8 サガミトリゲモ  
9 アカハライモリ／10 ホトケドジョウ

※<sup>1</sup> 令和 2 年度～令和 3 年度に実施した生物相調査。調査対象は維管束植物、鳥類、両生類、爬虫類、魚類、淡水産貝類、哺乳類、昆虫類（今野万里子、堀部良太、弦間一郎、稲葉修、平澤柱、佐藤洋司、星昇、岩崎雄輔、増淵翔太(2022)地球環境基金助成金 調査報告書）

※<sup>2</sup> 環境省「第 4 次レッドリスト」及び福島県「レッドデータブックふくしま」の掲載種

※<sup>3</sup> 写真提供者(写真番号): 増淵翔太氏(1)、堀部良太氏(2)、平澤柱氏(3)、星昇氏(4-8)、稲葉修氏(9-10)